

病院の実力「皮膚の病気」

医療機関別2011年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	皮膚がんの入院手術(人)	アトピー性皮膚炎(人)	乾癬(人)	脱毛症(人)	あざのレーザー治療(人)
神戸海星	35	171	60	37	51
兵庫県					

兵庫県

※「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、アトピー性皮膚炎、乾癬、脱毛症は新規患者数、あざのレーザー治療は保険診療分のみ。

※全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。

アトピー 手入れ大切

今回の「病院の実力」は「皮膚の病気」を取り上げた。命にかかわる場合もある皮膚がんや、治りにくい病気を中心に、日本皮膚科学会認定の教育研修施設に

2011年の診療実績を尋ねた。「皮膚がん」は早期診断と切除手術が大切だ。様々なタイプがあり、悪性度も異なる。診断が難しい場合

も多い。診療経験豊富な医師の診察が望ましく、施設の入院手術件数は病院選びの一つの目安になる。患者数が多い「アトピー性皮膚炎」の治療は、ステ

ロイドなどの塗り薬が中心だが、ダニやホコリ、食べ物、ストレスなど、悪化につながる様々な要因を減らすことも大切だ。「乾癬」の大半は、皮膚が赤くなり、表皮がポロポロとはがれる尋常性乾癬。治療法は、塗り薬や紫外線、免疫抑制剤などに加

え、最近では生物学的製剤が次々登場し、関節炎を伴う重症患者にも効果を上げている。「脱毛症」のうち円形脱毛症は、10円玉1個程度の軽い症状から全身の毛が抜ける重症の場合まである。治療法の選択肢は多いが、確実な治療法はない。男性

型脱毛症には治療薬があるが、保険が使えない自由診療だ。「あざのレーザー治療」は、レーザー機器の有無によって病院の治療実績に大きな違いがある。見込まれる効果や治療にかかる時間について、事前に十分説明を受けておきたい。